

取組の方向性

- 都市計画道路の沿道にふさわしいまち並みの誘導や延焼遮断帯の形成による防災性の向上を図ります。
- 住宅地では、みどり豊かで良好な住環境を保全・創出していきます。

今後、具体のまちづくりの検討にあたっては、「（仮称）まちづくり協議会※」を立上げ、当地区におけるまちの将来像などについて、地域の皆様とともに話し合いながら進めていきます。

※「（仮称）まちづくり協議会」とは

【構成】

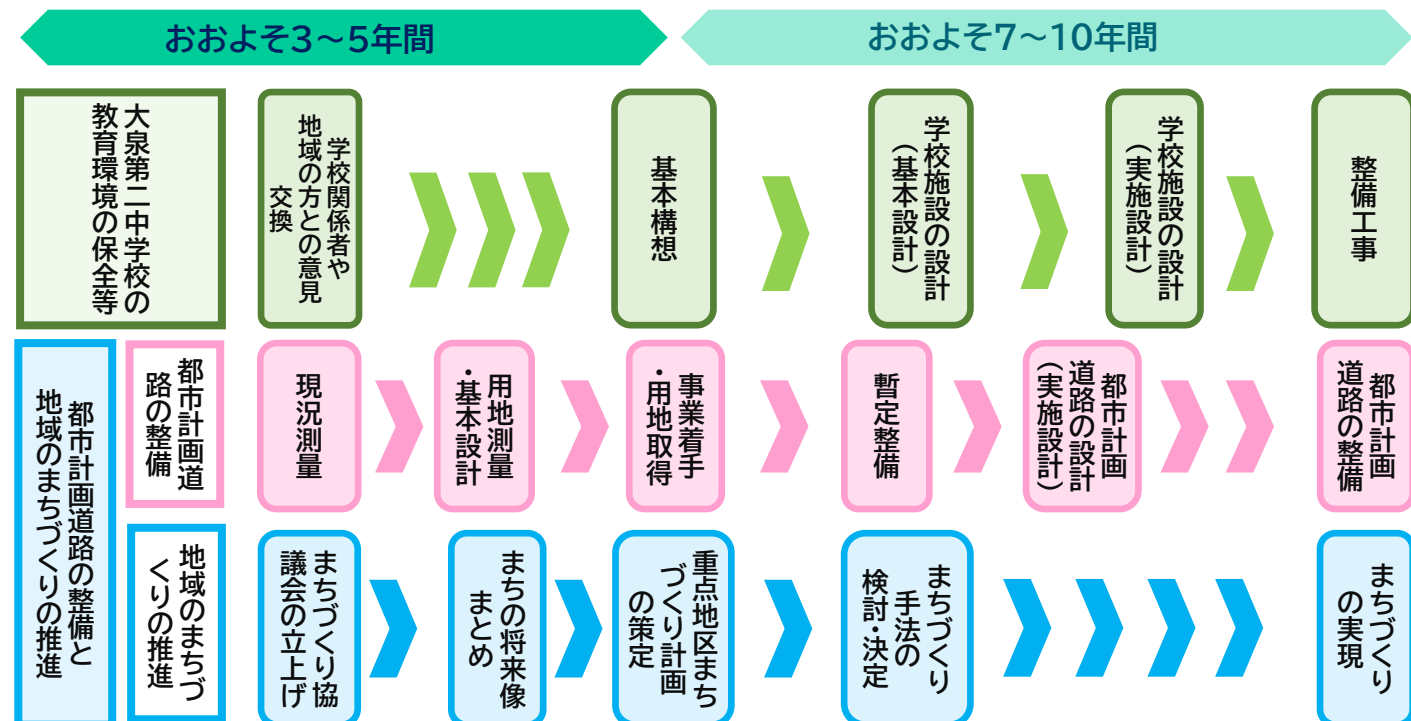
地区内の町会や商店会などの代表者や公募委員（想定）

【主な検討内容】

まちの将来像（目指すまちのイメージ）
地域の特色
都市計画道路沿道の土地利用
地域住民の把握している課題 など



今後のスケジュール



測量や事業着手前など今後も適切な時期に必要な説明会等を実施していきます。
上記のスケジュールを基本とし、可能な限り早期の事業着手を目指していきます。

ご意見等がございましたら下記へご連絡ください。

練馬区 土木部 特定道路課 まちづくり担当係 〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1
TEL：03-5984-4765（直通） FAX：03-5984-1237 E-Mail：D-KEIKAKU27@city.nerima.tokyo.jp

大泉学園駅南側地区のまちづくりについては、
区のホームページでも紹介しています！

大泉学園駅南側地区



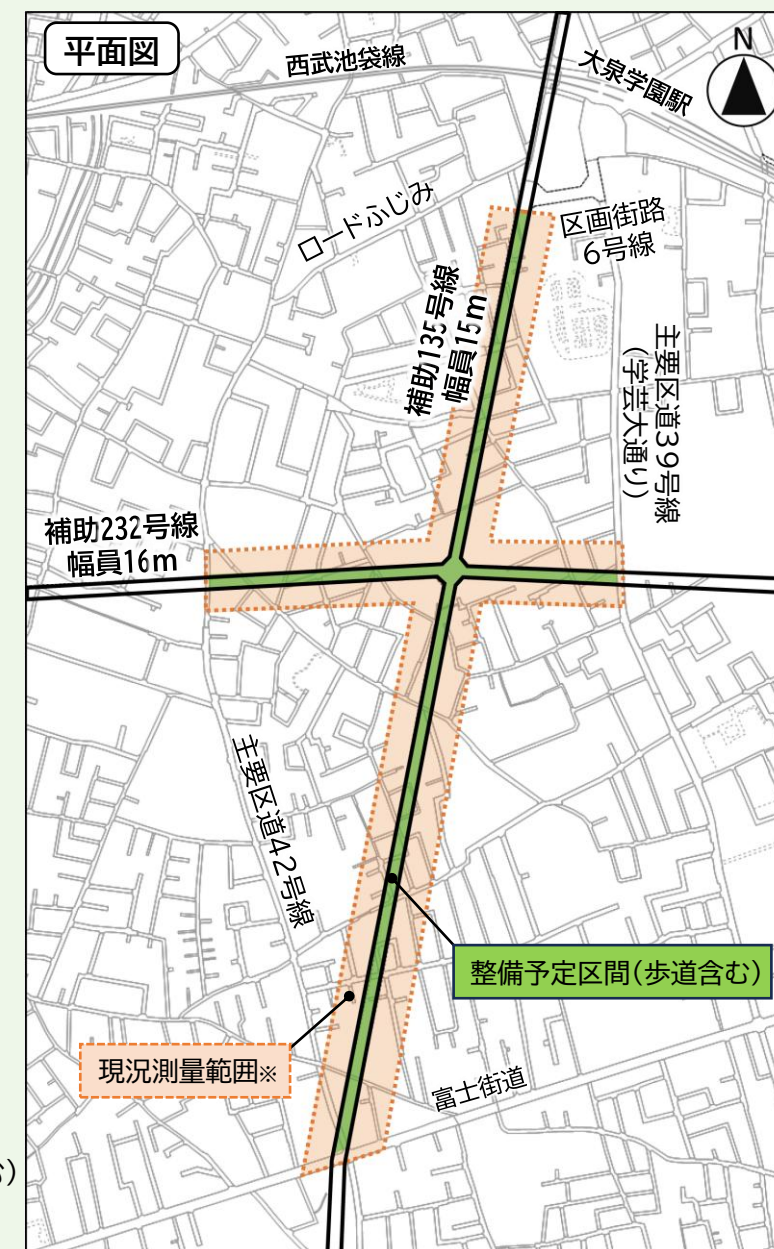
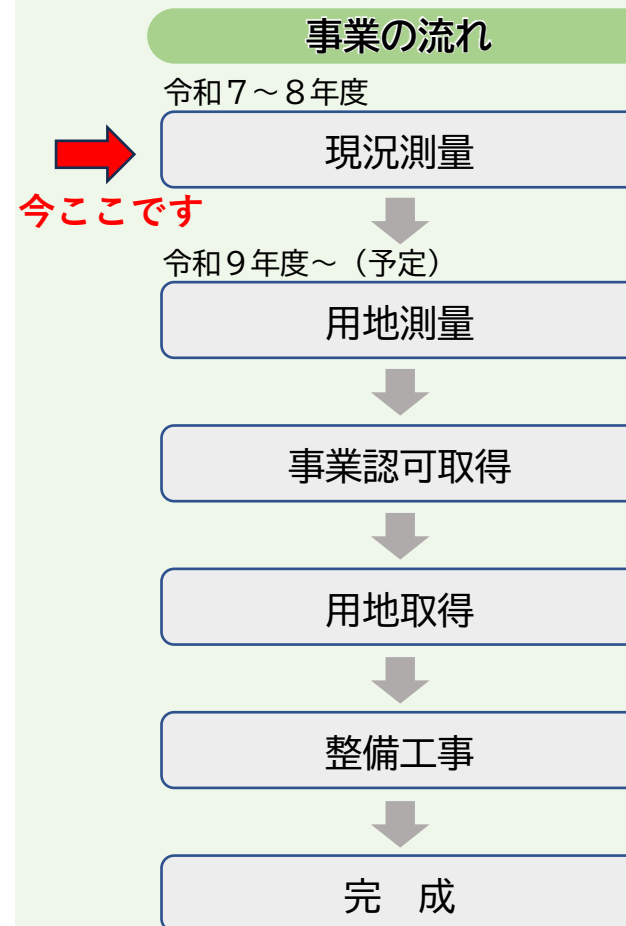
大泉学園駅南側／大泉学園駅南側地区のまちづくりに向けて

みちづくり・まちづくり通信

この通信は、大泉第二中学校通学区域の全域および石神井台6丁目の全域にお住まいの皆さま、ならびに補助135号線・補助232号線の計画区域内に土地や建物をお持ちの皆さまへお届けしています。

現況測量に着手しました！

練馬区では、大泉学園駅南側地区において、学芸大通り、ロードふじみなど生活道路の交通混雑の緩和やまちの防災性の向上を目的とし、都市計画道路補助135・232号線の整備に向けた取組を進めています。令和7年3月に策定した「大泉第二中学校の教育環境保全と大泉学園駅南側地区まちづくりの取組方針」にお示したとおり、補助135・232号線の事業化に向けた現況測量に着手いたしました。



※ 現況測量の範囲は、道路の整備予定区間（歩道含む）と、その両側30m程度です。

事業概要および測量説明会を開催しました

事業概要および測量説明会

補助135・232号線（富士街道～練馬区画街路6号線）（学芸大通り～主要区道42号線）の事業概要および測量について説明会を開催しました。

開催日時 令和7年11月7日（金）19:00～21:00
令和7年11月8日（土）10:00～12:00

会場 勤労福祉会館

参加人数 205人（2日間合計）

主なご意見

- ・測量説明会の開催案内について、もっと広範囲に配布すべき。
- ・また、地元説明会を開催して欲しい。
- ・残地は買い取ってもらえるのか。
- ・騒音、振動対策はどうなっているのか。
- ・ロードふじみは混雑していない。
- ・ロードふじみから富士街道までの区道（主要区道42号線）は幅員が狭く、車両のすれ違いにも苦労しているのに補助232号線が主要区道42号線まで繋がると、逆に車が流入するのではないか。
- ・ロードふじみは、歩行者、自転車、自動車が錯綜しており、すごい危険だと思うが、交通事故など子どもの安全面や健康面などを公平に検討し、道路事業が本当に必要か判断すべき。



説明会当日の様子



- ・都市計画道路の整備ではなく、学芸大通りを拡幅すべき。
- ・早急に学芸大通り、ロードふじみ、主要区道42号線の交通量調査を実施すべき。
- ・都営住宅の三角公園は、道路でなくなる。近くの認可・認証保育園で三角公園をその条件としている園がいくつあるか把握しているのか。
- ・第二運動場に体育の授業で休み時間の間に集合することはできるのか。
- ・移動時間を除くと授業の時間が無くなってしまわないのか。
- ・また、教員も授業の準備などが大変ではないか。
- ・新しい大二中の運動場約7,300㎡について、これまでのような運動会ができるのか。
- ・大南小について、補助232号線により敷地が小さくなることについて、どう考えているのか。 など

◆ 権利者の方々へ個別訪問を実施しました

補助135・232号線の計画道路区域内にお住まいの権利者の方々へ、大泉学園駅南側地区のまちづくりの状況等をご説明するため、10月下旬に直接ご自宅を訪問いたしました。
その結果、2日間で約7割の方々にお会いすることができ、まちづくりの状況や事業の概要、今後の進め方についてご説明するとともに、お困りごとやご意見などを伺いました。

主なご意見

- ・早く事業化してほしい。
- ・事業化に時間がかかりすぎ。あきれている。
- ・計画に賛成。学芸大通りは危険なので道路整備が必要である。
- ・家を改修したいが、道路の事業化時期が気になる。
- ・古い計画を基本として整備するのが不満。
- ・都市計画道路は必要ない。 など

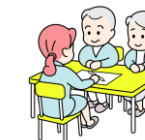
◆ 個別相談会

補助135・232号線の計画道路区域内に土地や建物をお持ちの方に対し、用地等に関する一般的な補償内容や土地を先行取得する『生活再建支援制度』について、ご説明しました。

開催日時 令和7年11月21日（金）17:30～20:30
令和7年11月22日（土）10:00～14:00

会場 勤労福祉会館

参加者数 18世帯（2日間合計）



主なご意見

- ・道路計画があることを承知して家を購入している。年齢のこともあるので早く事業化して欲しい。
- ・個別相談会では、もう少し具体的な話を聞けるかと思っていた。早く事業化を進めてほしい。
- ・学芸大通りを自転車で通る時、狭いので人や電柱を避けるために車道へ出たりするが、バスや大型車が多く、今の学芸大通りは危ないと思う。
- ・先日の測量説明会に参加したが、計画に反対の方が自分たちの意見に終始してしまい、我々のような計画線にかかっていて、事業が生活に直結する人間が聞きたいことを聞けなかった。
- ・説明会に参加したが、反対者の方々に圧倒された。あの場では言えなかったが、事業に協力していきたい。
- ・代替地は用意してもらえるのか。
- ・解体費は補償してもらえるのか。
- ・所有地の一部しか道路計画線はかからないが、補償はどうなるのか。 など

今後の測量作業

現況測量（令和7～8年度）

- ・都市計画道路予定区域とその周辺にある建物、樹木、塀および道路等の形状を調査し現況の地形を表す平面図を作成します。
- ・できあがった図面に道路の都市計画線を書き入れて、都市計画道路の位置を明らかにします。

用地測量（令和9年度～（予定）

- ・都市計画道路に係る土地について、現地において関係権利者の立会のうえ、隣接する土地との境界等を調査、確認します。
- ・境界確認に基づき、一筆ごとに土地調査を行い、用地取得に必要な面積の算出および図面の作成を行います。